

未来技術遺産に選ばれた「土の館」所蔵のプラ
スチックプラウ



農機具「プラウ」 未来技術遺産

国立科学博物館(東京)

は5日、次世代に継承すべ
き「重要科学技術史資料(未
来技術遺産)」に、上川管
内上富良野町の博物館「土
の館」所蔵の土壌を耕す農
機具「上下反転自由プラウ」
「プラスチックプラウ」の
2点など計15点の登録を決
定した。

土の館は上富良野町の農
機メーカー「スガノ農機」
が1992年に開設した企
業博物館。上下反転自由プ
ラウは、傾斜地でも馬が耕

上富良野 「土の館」所蔵2点

せるよう同社が52年に開発
した。表土の流出を防ぐた
め、傾斜の高い方に土をお
こすように羽根を工夫し
た。

プラスチックプラウは72
年に製作。当時普及がしま
ったトラクター用で、羽根
が強度の高い超高分子ポリ
エチレン板でできている。
従来の鉄製より土がつきに
くく、作業効率が改善され
た。

国立科学博物館は選定理
由を「プラウの高機能化を

進め、道内の畑作の大規模
化に貢献した」とする。土
の館の田村行政館長は「北
海道が食糧基地となるのを
支えた技術が評価されて、
大変光栄だ」と喜びを語っ
た。

未来技術遺産は2008
年に始まり、生活や文化、
経済の変化に大きな影響を
与えた製品を毎年20点前後
選んでいる。道内では11年
にサップロピール博物館
(札幌市)の「麦汁煮沸釜」
などが選ばれた。